

さんぽみち

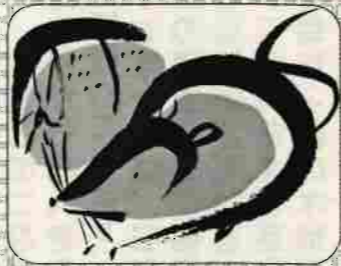
鶴の木地区地域情報紙
平成20年1月1日号 第52号

発行：わがまち大田鶴の木地区推進委員会

編集：鶴の木地区 地域情報紙編集委員会

事務局：鶴の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418

謹賀新年



俳句

交番の机に小さき鏡餅
人の世の絆の不思議
賀状受く

初暦めくれば歳時
あまたあり

前掛けて手を拭き賀状
拝したる

蒼天に四肢びんと張り
出初式

初大師始切る音の
弾みたる

装ひの未だくずれず
初景色

あつけなく元旦が過ぎ
松が過ぎ

初鏡作る笑顔の
呆け予防

鶴の木三丁目町会
根本 仁

出張所だより

◇ 秋の受賞者 ◇

おめでとございます。
(順不同・敬称略)

【防犯栄誉金賞】

(警察庁長官表彰)

南久が原一丁目町会
平川 漢夫

【日赤・銀棒支部長感謝状】

鶴の木東町会

池田 君江

鶴の木西町会

佐瀬 光男

鶴の木二丁目町会

清藤 タケ

鶴の木三丁目町会

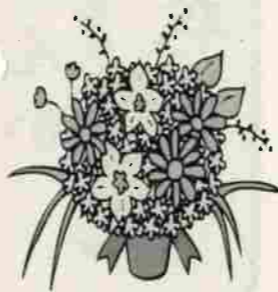
國分 三千代

千鳥南町会

今井 範栄

千鳥北町会

澤田 益一



◇ 地域の行事 ◇

◎町会連合会新春懇親会

日時・一月二十一日(月)
午後六時〜八時

会場・大田区民プラザ展示室

◎鶴の木三丁目町会どんと焼き

日時・一月十三日(日)
午前十時〜十一時

会場・多摩川河川敷



鶴の木特別出張所管内の人口	
男	10,654人
女	11,396人
計	22,050人
世帯数	11,409世帯

◇ 平成19年11月1日現在

編集後記

皆様、新年を迎えて、心より初春をお慶び申し上げます。今回は昨年の秋の鶴の木地区連合運動会(大森七中グラウンド)で、日本の未来を託す子どもたちと父母の方々にアンケート調査を行いました。(アンケート調査は、一七八名の方から協力いただきました)子どもたちの大きな夢が実現できることを期待し、私たちも一緒になって応援いたしましう。本年も編集委員一同、よりよい記事に編集に努めてまいります。皆様のご愛読をよろしくお願い申し上げます。

編集長 永田 清



未来の夢についてお聞きしました

新年を迎え、地域の子ともたちと父母の方々の、未来の夢をご紹介します。

◎幼児・小学生の部

(十一名)

○バスケットボール選手

(各一名)

○ケーキ屋太くん

○保育園・幼稚園の先生

○動物を扱う仕事

(各二名)

○マンガ家

○建築家

(各一名)

○花屋さん

○美容師

○ピアノスト

○シエフ

○アイドル

○科学者

○ロボット研究者

(各一名)

○卓球

○サッカー

○野球

○水泳

○アメフト

○スケートの選手

○学校の先生

○お手の先生

○発明家

○看護師

○医者

○画家

○声優

○電車の運転手

○船長

○モーター

○農家

○パン屋さん

○海上保安庁職員

○ゲームクリエイター

○機械を作る人

○温暖化の無い平和な暮らし

◎中学生の部

(各一名)

○薬剤師

○獣医

○スポーツ選手

○保育園の先生



○フランス語を習い、「ムンゴ」
リフの勉強をする
○悠々自適
○大金持ちになりたい
○子どもが幸せになり、鶴の木の町でのんびり暮らす
○他人に楽しい時間を提供する
◎50〜80才代の部
(三名)

○元気でいたい

(各一名)

○ぴんぴんころり

○平和で健康

○海外旅行がしたい

○自分のお店を持ちたい

○娘の幸せと健康

○ゆとりのある不安の無い生活

○地域の連帯と交流の促進

○家族の幸せ

○会社の発展

○趣味を伸ばす

○孫の成長

○妻と楽しく全国旅行

○運動会に出られること

○百才まで頑張ります

○老後ハワイに永住したい



※昨年の十月二十一日に行われた、鶴の木地区連合運動会でのアンケートを集約いたしました。

第四回鶴の木地区 高齢者ふれあいフェスタ の開催

日時・平成二十年三月四日(火)
午後一時～四時
場所・大田区民プラザ
小ホール及び展示室

高齢者の社会参加を促し、その活動を支援することで、高齢者が明るく元気に自立して暮らす地域社会をめざしています。

平成十四年に高齢者の仲間づくりを目的とした「高齢者ふれあい事業」が発足し、地域別に三つのグループ(元気塾)が結成され現在も活動を続けています。

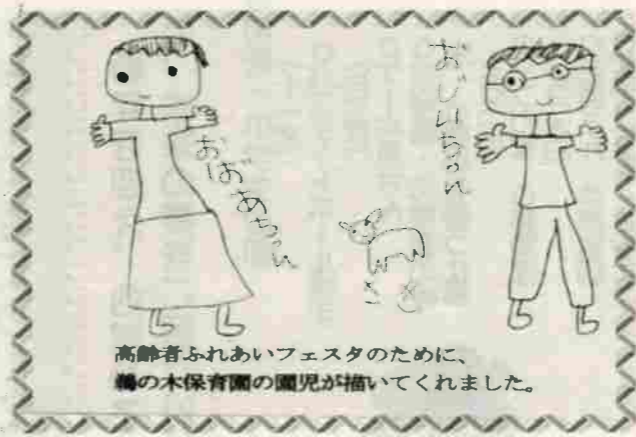
毎月の三元気塾は、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など、社会とのつながりが希薄になりがちな人を主たる対象に開催しています。

平成十七年からは、三元気塾の活動の積み重ねの結晶として身近な地域で高齢者が一同に会してふれあえる活動の場として毎年「鶴の木地区高

齢者ふれあいフェスタ」を開催しています。

このフェスタは、多くの方々の賛同を得て、ボランティアとして地域の高校、中学校、保育園も参加協力をいただいているだけでなく、各企業の協力も得て実施しています。高齢者だけでなく、各年齢層、地域社会を巻き込んだイベントとなっております。

今年度のキャッチフレーズは、「ふれあいの笑顔あふれる 地域の輪」です。皆様のご来場をお待ちしています。



いざという時! あなたは行動できますか

大地震の被害を最小限に抑えるには、一人ひとりが適切に行動し、日ごろから地震に関心をもって活動しましょう。◎まず、わが身の安全確保。落下物から身を守る。外に飛び出さない。火の元の確認。

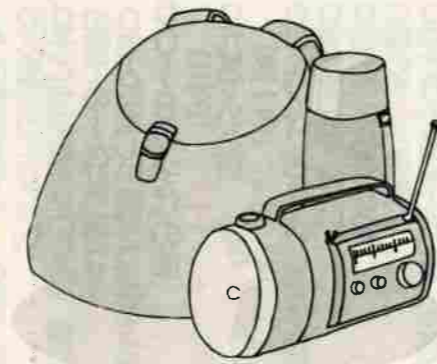
◎助け合って行動する。ラジオなどで正しい情報。避難のタイミングは逃さない。隣近所で安否を確かめ合い、お互いに助け合う。

日ごろの備えは、非常持出品、懐中電灯、薬、非常食料、貴重品等。非常備蓄品として家族の三日分の食料。飲料水は一人三リットル。その他には消火器、水の汲み置き(バケツ、ビニール袋、ペットボトル等)。サララップ、スリッパ、スニーカー、ビニール袋等。大切なことは地域の防災訓練への参加!家族で防災会議を開き、家の周囲や家の中の安全点検。アンテナや植木鉢、ブロック塀等。家族との連絡方法、集合場所の確認。

避難場所へは火災拡大など

で家にいる事が危険な場合、家屋の倒壊焼失等で生活できない時避難。避難所は区立小・中学校等です。公園や学校のグラウンドは避難所や避難場所(河川敷等)へ行くために一時的に集合する場所です。避難生活では適度な運動や十分な水分の補給等で体調を管理する。

- 千鳥北町会 米本 延子
- 千鳥南町会 大森 律子



散歩してみませんか

都立大森高校周辺

大田区内の都立大森高校周辺巡り、その四

◎都立大森高校
開校は一九四三年四月、旧制府立二十三中を前身とする。

現在、進学希望の生徒を対象に、大学や専門学校講師による土曜講座が開かれている。一九四八年四月には定時制を設置。定時制ではNPO等と連携した学校教育を進めている。校舎内に天文台がある。通称森高もりこうと呼ばれている。

◎大坊本行寺
日蓮大聖人御入滅(こにゆうめつ)、「ご臨終」の霊場です。御入滅の時、大地は揺れ動き、庭の桜が一度に花をつけたと伝えられています。

◎本門寺
日蓮宗の大本山。本門寺の正面入口にあたる総門から寺の中心部へは、此経難持坂(しきよなんじざか)という九十六段の急な石段がある。文化財として、五重塔、木造日蓮聖人坐像等がある。著名人の墓が多く、幸田露伴、力道山の墓もある。

毎年十月十一日(十三日にお会式(日蓮の命日)が行われ賑わう(十二日は、万灯練供養)。

◎池上梅園
池上駅より徒歩二十分の所にあり、四季折々の風情を楽しむことができ。丘陵斜面を利用した閑静な庭園。ウメが約三百七十本あり、初春には紅白の花が咲き乱れる。また、ツツシ約八百株をはじめとする樹木もあり、茶室、和室の施設もあります。

※都立大森高校所在地
大田区西蒲田二一〇一
東急池上駅徒歩七分

- 鶴の木三丁目町会 大関 則子
- 南久が原一丁目町会 政氏 禮子

リレーエッセー

旧年は企業による食品の偽装及び賞味期限の不正、建材の偽装等モラルに反する事例が数多く発覚し、消費者に不安を与える結果になりました。これは私達がメディアで話題にならなければ知る由も無く、企業経営者が過大な利益を得るために、モラルの欠如により消費者をないがしろにしたい、欲が優先してしまつた結果であり、企業の存続にかかわる問題です。

とところで同じような言葉で使われているマナーについて、昨今路上、公園内のゴミの目に余る行為がみうけられます。これはモラルと違い個人による身勝手な行為であり、私達の身近で目にするものが多くなつて来ている様に思えます。少しでもこの様な行為を減らせるように、この地域のスローガンである「オ・ア・シ・ス」運動が大変役に立つと思われまふ。今後ともぜひ続けて行きたいものです。

- 鶴の木三丁目町会 掛川 正昭



掛川 正昭